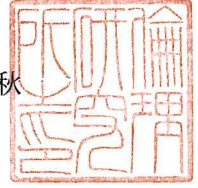


[通達 2020.4.6]

諸活動の休止について

一般社団法人倫理研究所

理事長 丸山敏秋



役職者・会員各位

皆様には平素より、倫理運動に絶大なご尽力を賜り、篤く感謝御礼申し上げます。

思いがけず今年になって発生した新型コロナウイルスによる感染症は、たちまち全世界へと広がり、大混乱の中で、各国は対応に苦慮しています。

わが国の場合は現在のところ、欧米に比べて死者数はきわめて少なく抑えられていますが、3月の3連休あたりから、感染者数ともに日を追って増加してきました。

すでに倫理研究所では、政府の基本方針を踏まえて、会員組織の活動を2月26日より2週間休止し、3月11日より再開しました。各都道府県や各地域の状況がかなり異なっていたため、それぞれ自主的に判断いただくようお願いしてきた次第です。

その後、先月下旬からの国内会員組織の活動状況を精査し、感染拡大に対する政府や自治体の対応を把握してきた結果、今後の全国の諸活動について以下のように決定いたしました（4月6日臨時常任理事会）。

- ①「経営者モーニングセミナー」「おはよう倫理塾」「役員会」をはじめとする集会タイプの諸活動を、ゴールデンウィークが終わる5月6日まで休止します。
- ②休止時期以降の活動については、4月末日までに通知します。
- ③富士高原研修所では、ゴールデンウィークまで予定されていたセミナーのすべてを中止します。

何卒ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、活動休止と申しまして、何も行わないのではありません。法人会員組織ではすでにインターネットを活用した遠隔会議などでコミュニケーションを交わしたり、自主的に学びの空間を設けている会もあります。倫理研究所からも「WEB版モーニングセミナー」のための資料を、近く配信する予定ですので、ぜひご活用ください。個人会員組織に対しても、しかるべき対応を考案中です。もとより、『新世』『職場の教養』など月間の各紙誌は遅滞なく発行してまいります。

いまや国を挙げてこの災厄に立ち向かい、最悪の事態に備えて感染拡大の防止に努めなければなりません。申すまでもなく、個々の見解や主張に相違はあろうとも、私どもは日本国民として、政府あるいは自治体が決定し要請したことを、正しく受けとめて行動すべきです。

役職者・会員の皆様方におかれましては、それぞれに心を痛め、苦境に立っておられると拝察いたしますが、このような時節だからこそ、「倫友」として連帯感を高め、励まし合い、果敢に国難を乗り越ってまいりましょう。どうかご健康に留意され、明るく前向きに前進されますよう、切にお祈り申し上げます。

敬白